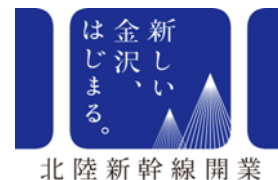


内川、犀川、湯涌、東浅川、俵、医王山 校下(地区)



ともに考えよう まちづくりミーティング

平成27年11月7日(土) 18時30分から
於 犀川公民館 2階大・中会議室

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

～ 開会前、市政紹介動画の放映 ～

金沢マラソン (平成27年 1月)
金沢を味わう、映像で (平成27年 4月)
金沢市プロモーションムービー (平成27年 10月)

今回放映しました、市政
紹介動画は金沢市のHP
“いいね金沢”
でご覧になれます。

- (1) 市長あいさつ
- (2) 地域代表あいさつ
- (3) 進行の説明等
- (4) 地域課題の説明
- (5) 課題に対する市の方針等の説明
- (6) 討議
- (7) 共通課題について討議
- (8) 市長 まとめ など

※恐れ入りますが、アンケートにご協力ください。

お帰りの際に、用紙をアンケート箱にお入れください。

金沢市広報広聴課 TEL 220-2348 FAX 220-2030

平成27年度第4回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

提出課題一覧表 1

町会連合会名	内川校下町会連合会
課 題	中山間地域の獣害対策について
課題の内容	<p>近年、中山間地域の当地区ではクマやイノシシ、サルなどの出没が増加し、その被害は住吉町・新保町地内から小原町・山川町地内へと拡大している。中でも農作物の被害は年々深刻化し、農家の生産意欲の減退を招いている。</p> <p>現在、行政と地域が連携し防護柵の設置や有害鳥獣駆除等の被害防止の対策が進められているが、クマは民家への接近に慣れ、イノシシは繁殖を繰り返し、サルは50～60匹以上の群れをなして出没を繰り返しており、今後も被害の広域化、拡大が懸念されている。</p> <p>獣害により、生産農家は市からの補助を受けてはいるものの、その為のコスト・労働などの負担が増大しており、畑仕事を生きがいにしている高齢者には健康福祉の面からもその意欲を継続してほしいと感じている。</p> <p>また、人里でのクマの出没時には、児童生徒の通学時の安全確保のため、地域のサポート活動が必要とされている。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域の有害鳥獣対策の現状と今後について ・ それらの対策における具体的支援策について
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>内川地区では「四季を感じる山里への再生」を長年の継続課題として取り組んでいるが、現在も森林の再生、担い手の育成などまだまだ課題は山積している。課題である「獣害対策」と連携し今後も農林業の振興に地域全体で取り組みたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 獣害対策助成制度の充実と推進 ・ 奥山での実のなる樹木（どんぐり・かし・ぶな・ならなどの広葉樹）の植栽の推進

提出課題についての市の方針等 1 - (1)

課 題	中山間地域の獣害対策について	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	獣害対策助成制度の充実と推進	
市の方針等	<p>中山間地域の獣害対策は全国的な課題です。</p> <p>現在、鳥獣による被害を防止するには、①鳥獣を近づけない環境整備、②電気柵等による農地・農作物の防護、③有害鳥獣の捕獲・駆除、これら3つを組み合わせた総合的な被害防止対策が重要と考えており、藪の刈り払いによる緩衝帯の設置、侵入防止柵や捕獲檻の設置等に支援しております。</p> <p>また、地域農業者による狩猟免許の取得を支援し、補助者制度の活用により捕獲従事者を増やし、捕獲効率を高めるよう推進しているところです。集落ぐるみによる地道な取り組みが必要であり、今後とも協力をしていただきたいと思います。</p> <p>全国的な他の優良事例などを参考に、本年度より効果的な獣害対策を研究するため、下記の実証試験を行っており、効果の高いものについては、その普及を図り支援の拡充を検討してまいります。</p> <p>実証試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノシシの新方式電気柵の実証（上辰己） ・メール通信装置による見回り労力軽減実証（竹又、御所） ・モンキードッグによるサルの追い払い実証（寺津） ・サルのワイヤーメッシュ電気柵実証（樫見） ・サルの大型檻導入実証（大平沢） <p>講習会、現地検討会などを通じ、生産者等に市の支援制度を周知するほか、効果的な捕獲方法や柵の設置方法を指導するなど被害防止対策を推進してまいります。</p>	
担当課	農業振興課 森林再生課	電話 220-2213 電話 220-2217

提出課題についての市の方針等 1 - (2)

課 題	中山間地域の獣害対策について	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	奥山での実のなる樹木(ドングリ・カシ・ブナ・ナラなどの広葉樹)の植栽の推進	
市の方針等	<p>クマのエサとなる実のなる樹木の植栽は、人とクマのすみ分けにつながるので、個人所有林の整備に支援を行う民有林再生事業で、コナラやミズナラ、クヌギなどの植栽に助成しています。また、地域の皆さまが草刈りや植樹など、新たな森づくり活動に取り組む際は、森づくり専門員の派遣や道具の貸し出し等の支援を行っています。</p> <p>奥山は、そのほとんどが国有林であることから、ご提案の実のなる木の植栽について、国とも協議し、研究してまいります。</p>	
担当課	森林再生課	電話 220—2217

提出課題一覧表 2

町会連合会名	犀川校下町会連合会
課題	中山間地域の農業について
課題の内容	<p>【中山間地域の状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農業従事者の高齢化、担い手不足から集落機能が低下し組織化が困難なため、離農者が増加し耕作放棄地が年々増加している。特に、中山間地域では農業条件が厳しく、個別農家の規模拡大には限界がある。 2. 耕作放棄地については、そのすべてを農地に戻すことは大変困難なため、その新たな利用方法を検討する段階に来ている。
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政による今後の対策と助成の拡大（農道、水路等）について ・ 耕作放棄地の活用方法の検討 ・ 農業経営規模の拡大若しくは、小規模農家への支援策の拡大
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政の指導で農地の集約化や若手の農業従事者の育成事業の推進 ・ 中山間地域での農道、水路等整備助成の拡大 ・ 耕作放棄地の新たな利用方法として、子どもの自然環境教育の場としてはどうか。

提出課題についての市の方針等 2 - (1)

課 題	中山間地域の農業について
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	行政の指導で農地の集約化や若手の農業従事者の育成事業を推進してほしい。
市の方針等	<p>農業従事者の減少、高齢化や米価の低迷など農業を取り巻く状況は、一層厳しく、特に中山間地域においては、法面、ため池の管理など農業生産条件が厳しく、個別農家の規模拡大が難しいことは十分認識しています。</p> <p>農地の集約化については、地域ぐるみで行う集落営農組織や農業法人等で営農することが、農地の効果的な集積、集約化及び生産コストの低減につながるもので、集落営農の組織化・法人化等を促進してまいります。</p> <p>農地の貸し借りにより、集約化する場合「農地中間管理機構」を通じることにより、農地の出し手や集落に対し協力金が交付される制度があるので、農協等の関係機関と連携を図りながら、その制度を周知、活用し、農地の集積・集約を推進してまいります。</p> <p>若手の農業従事者の育成については、集落営農組織や農業法人等が新たに若い従事者を雇用する場合、国の支援制度もあることから、それらの制度を活用、推進していきたいと考えています。</p>
担当課	農業振興課
	電話 220-2213

提出課題についての市の方針等 2 - (2)

課 題	中山間地域の農業について	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	中山間地域での農道、水路等整備助成の拡大	
市の方針等	<p>農道、水路における市単土地改良事業の補助率について、平地 … 60%、山間地 … 70%でしたが、平成15年度からは中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる地区では、更に10%を上乗せし80%として、負担軽減に努めています。</p> <p>事業内容や規模によっては、国補助事業を活用して地元負担の軽減が図れる可能性もありますので、個別にご相談ください。</p>	
担当課	農業基盤整備課	電話 220-2215

提出課題についての市の方針等 2 - (3)

課 題	中山間地域の農業について	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	耕作放棄地の新たな利用方法として、子どもの自然環境教育の場としてはどうか。	
市の方針等	<p>子どもの自然環境教育の場としては、米や野菜づくりを行う体験農園としての活用が考えられるので、今後とも学校や地元などと協議してまいります。</p> <p>また、昨年度から始まった国の日本型直接支払制度を推進し、集落ぐるみによる農地や農道、水路の保全活動を行うことにより、地域コミュニティの強化を図るとともに、農地の保全、農業施設の長寿命化や維持管理の負担軽減を図るなど耕作放棄地の発生防止に努めているところです。</p> <p>(犀川校下での制度取組み集落)</p> <p>多面的機能支払制度：末、中戸、相合谷、城力、檜見、上辰巳、駒帰、鴛原 中山間地域等直接支払制度：中戸、天池、平、檜見、相合谷、下鴛原、鴛原、瀬領、上辰巳、城力</p> <p>近年、農業体験を希望する方々も増えていることから、市民農園や米、ソバなどの農産物のオーナー制度の開設などの活用も考えられ、耕作放棄地の新たな利用方法について検討してまいりますので、地域の皆様のご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>他地区の事例</p> <p>花園・旭日地区：市民農園や梅のオーナー農園の開設 湯涌地区：市民農園やソバのオーナー農園の開設</p>	
担当課	農業振興課 環境政策課	電話 220-2213 電話 220-2304

提出課題一覧表 3

町会連合会名	湯涌校下町会連合会
課題	移住・定住を促進するための連携と支援について
課題の内容	<p>湯涌校下においても、少子高齢化が進み、子どもとその親世代の減少から小・中学校の存続自体が危惧され、今後、地域から学校がなくなることは地域衰退を加速させることになる。そのような事態を防ぐため5年～10年先の地域状況を推察して湯涌校下として話し合いを進め、地域の魅力の再発見・創出そして発信の努力を続けてきた。その甲斐もあり小さなお子さんを持つ家族の移住を望む声や大学生や若者のUターン、Iターンを望む声が聞こえるようになった。</p> <p>しかし、実際に移住者が住居を確保するためには、規制という大きな壁があり、また、まちなかと比較して行政の支援が弱い。このような中山間地域特有の課題に対する行政の考え、また今後、地域・行政がどのように連携を取っていけるか、その点について討議を行いたい。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	移住希望者のための住居確保に対する行政の規制緩和・支援、地域との連携について
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道沿いや住宅集積している地域では、市街化調整区域を部分的に解除できないか。 ・ 定住、移住希望者に提供できる「空き家・空き地」の調査・情報提供について、校下で取り組んでいるが、行政と連携した取り組みができないか。 ・ 分家住宅建築に関する規制を緩和できないか。 (同一町内で実家が現に農業中を校下内の出身者に緩和) ・ 空き家の解体、改修、取得への助成や、分家住宅への補助金を拡充できないか。

提出課題についての市の方針等 3 - (1)

課 題	移住・定住を促進するための連携と支援について	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	県道沿いや住宅集積している地域では、市街化調整区域を部分的に解除できないか。	
市の方針等	<p>本市のまちづくりのあり方や方向性を示す「金沢市都市計画マスタープラン」において、これから迎える少子高齢化、人口減少等に対応するため、「市街地の拡大は原則行わない」とし、集約された都市構造の構築を目指すこととしています。</p> <p>また、湯涌校下地区は、当マスタープランの地域別のまちづくり方針で、東部丘陵地域に位置づけられ、「里山の自然と共生し、湯涌温泉を核としたまちづくり」を進めるエリアとされています。</p> <p>一方で、少子高齢化や人口減少が進む中山間集落における、里山の荒廃防止や移住・定住の促進、コミュニティの維持は、活力ある中山間地の創出を目指す上で、重要な課題であると認識しています。ただ、市街化区域は、まちなかのような市街地の形成を目指すものであり、当地区では違った視点と手法で対応していく必要があると考えています。</p> <p>そのために、地域の特性を活かした土地利用や移住・定住の促進による活性化策について、まずは、地元の皆様と共に話し合う機会を持ちたいと考えています。</p>	
担当課	都市計画課	電話 220-2351

提出課題についての市の方針等 3 - (2)

課 題	移住・定住を促進するための連携と支援について	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	定住、移住希望者に提供できる「空き家・空き地」の調査・情報提供について、校下で取り組んでいるが、行政と連携した取り組みができないか。	
市の方針等	<p>湯涌地区において、地域が主体となり空き家等の調査を行い、「移住の窓口」として移住定住の促進に取り組んでおられることは、大変有意義であり、地域の活性化につながるものと考えています。</p> <p>現在、本市では、増加する空き家の適切な管理と活用の推進を目指し、(仮称) 空き家条例の制定に向けて作業を進めています。この条例では、空き家の未然防止や適切な管理、空き家の活用など本市の空き家に関する基本的な施策を定めることとしており、この中には地域と連携した空き家の活用方策等についても盛り込んでいく予定です。この条例の制定後には、各地域の皆様と連携して、空き家の適切な管理や活用等に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>なお、8月には中山間地域の町会を対象に、空き家の有無について調査を行いました。町会からいただいた空き家情報について、所有者に売却や賃貸の意向がある物件については、今後、市の空き農家情報バンクに登録し、情報発信を行っていききたいと考えています。</p>	
担当課	住宅政策課 農業振興課	電話 220-2136 電話 220-2213

提出課題についての市の方針等 3 - (3)

課 題	移住・定住を促進するための連携と支援について	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	分家住宅建築に関する規制を緩和できないか。 (同一町内で実家が現に農業中を校下内の出身者に緩和)	
市の方針等	<p>湯涌地区は建築の制限の厳しい市街化調整区域に指定されており、その中で農家世帯の分家住宅については、県内統一の基準で許可をしています。</p> <p>ご質問の基準を緩和することは難しいですが、調査等に取り組まれている集落内の空き家、空き地であれば「既存宅地」に該当する可能性があります。「既存宅地」に該当する土地であれば、建築することは可能です。ただし条件がありますので、詳細については、建築指導課でご相談ください。</p>	
担当課	建築指導課	電話 220-2329

提出課題についての市の方針等 3 - (4)

課 題	移住・定住を促進するための連携と支援について	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	空き家の解体、改修、取得への助成や、分家住宅への補助金を拡充できないか。	
市の方針等	<p>空き家の解体、改修、取得への助成については、今後、(仮称) 空き家条例の制定を踏まえ、地域の振興につながるよう助成制度の創設も含めて、利活用について検討していきたいと考えています。</p> <p>また、分家住宅については、現在、「里山地域における分家住宅等建築奨励金制度」として、農家の分家世帯員が、戸建て住宅を取得する場合、限度額50万円の奨励金の交付をしていますが、今後、(仮称) 空き家条例と整合を図り、改修費への支援もできないか検討していきたいと考えております。</p>	
担当課	住宅政策課 農業振興課	電話 220-2136 電話 220-2213

提出課題一覧表 4

町会連合会名	東 浅 川 校 下 町 会 連 合 会
課 題	住民の安全・安心の確保
課題の内容	<p>平成27年6月28日(日)市当局の指導のもと、土砂災害発生を想定した避難訓練が校下一斉に実施された。</p> <p>自主防災会組織連絡網に基づき、各種指示事項が伝達された。</p> <p>今回の貴重な体験を通じて学んだ内容を生の声として、7月17日反省会を開催した。</p> <p>現在、配備されている防災無線電光表示システムによる緊急警報を受信した町会長は「その警報を、どのように判断し行動に移さなければならないか」に考え悩むとの意見が多く寄せられた。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	住民への自然災害発生の緊急情報を円滑に伝達する方法について
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>地域住民の高齢化と中山間地域の農業就労者の労働環境等から、日中家を空ける留守宅が多く現行の防災無線電光表示システムの情報では、受信者不在の場合等で対応は限定的である。</p> <p>町会単位に情報提供の手段として「拡声機設置による」自然災害発生の警報伝達方法について是非ご検討をお願い致します。</p>

提出課題についての市の方針等 4 - (1)

課 題	住民の安全・安心の確保	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	日中家を空ける留守宅が多く、現行の電光表示情報システムでは、受信者不在の場合は対応が難しく、町会単位の情報提供手段として、「拡声器設置」による自然災害発生の際の警報伝達方法を、是非、検討してほしい。	
市の方針等	<p>本市では、災害の危険度が高まったことを意味する各種気象情報や避難勧告、避難指示といった避難情報を市民の皆様への的確・迅速に伝達するために、複数の情報伝達手段を確保するとともに、その機能の充実に努めているところです。</p> <p>電光情報表示システムは、中山間地域においては地形の問題から同報防災無線が通じにくく、また中山間地域の多くが土砂災害の危険度が高い箇所を抱えていることから、拡声器設置の代替え措置として平成20年度より順次配備したもので、市から災害に関する情報を提供するほか、現地から土砂災害の前兆現象などを知らせていただける双方向の機能を有しています。</p> <p>この他の情報伝達手段としては、市に登録された携帯電話へメールで情報発信する「金沢ぼうさいドットコム」を運営し、平成27年8月末時点の登録人数は、17,274人となっています。</p> <p>また、昨年の広島市における土砂災害の被害を受け、今年9月より石川県独自の取り組みとして、県と気象台が土砂災害の危険度が高まったと判断した場合に、市町単位で当該市町内の全携帯電話に対し、危険な区域を明示して緊急地震速報と同様のエリアメールを強制的に発信するシステムを導入したところです。</p> <p>加えて、本市を含む県内全19市町では、今年10月から放送事業者や通信事業者に対し、瞬時に避難情報や避難所開設情報を伝達可能なLアラートを一斉導入し、テレビやラジオ、インターネットによる情報伝達の充実に努めました。</p> <p>このほかにも、地元消防分団による広報なども行うこととしておりますが、本市の情報伝達手段について、防災出前講座などあらゆる機会を通して周知を図ってまいります。</p>	
担当課	危機管理課	電話 220-2366

提出課題一覧表 5

町会連合会名	俵地区町会連合会
課 題	俵地区の活性化に向けた旧俵小学校校舎の利用策について
課題の内容	<p>中山間地に住んでいた若者は、友人もいない・子供もいないなどを理由に地元離れをすることが一般的という考えに至る集落が多い。</p> <p>俵小学校が閉校になったのも、このような社会現象からであり、今後の中山間地の小中学校の存続も厳しいのではないかと考えている。</p> <p>こうした中、前述のとおり俵小学校は平成26年3月をもって閉校したが、旧小学校施設は今も地域の宝と考えている。地域活性化の為、良い利用案を検討していただきたい。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	旧小学校施設の有効利用について
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館・運動場・校内機材は従来通り使用許可を得ているが、プールの使用はどうか相談したい。 ・ 旧俵小学校の資料室の整備（保存すべき書類・絵画・本・備品等）をどのようにするか。 ・ 校舎の2階3階の有効な利用（例えば、近隣の大学等のサークル活動・災害備蓄倉庫等）の提案についてはどうなるのか。

提出課題についての市の方針等 5 - (1)

課 題	俵地区の活性化に向けた旧俵小学校校舎の利用策について	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	俵小学校は平成26年3月をもって閉校したが、旧小学校施設は今も地域の宝と考えている。地域活性化のため、良い利用案を検討していただきたい。	
市の方針等	<p>先の統合に際し、地域の方々には、大変重い決断をいただいたことに対し、改めて感謝を申し上げます。</p> <p>旧学校施設の利活用策については、俵地区の活性化につながるような公共的利用を主眼に、現在、検討を行っているところです。</p> <p>今後、具体的な方向をお示ししながら、地域の方々と協議していきたいと考えています。</p> <p>プールのあり方や旧俵小学校の資料室についてもその中で相談していきたいと考えています。</p>	
担当課	教育総務課	電話 220-2431

提出課題一覧表 6

町会連合会名	医王山地区町会連合会
課 題	医王山分団機械器具置場の建て替えについて
課題の内容	<p>施設の老朽化の為、医王山分団の機械器具置場を建て替える計画をしている。</p> <p>しかし、消防団例規綴によると、機械器具庫設置における補助額は基準額に基準面積を乗じた額の3分の2となっている。補助額を超えた費用に関しては区域内の各世帯で負担していただくこととなるが、市街地にある消防団と比べると医王山分団の区域内の所帯数は少なく1世帯ごとの負担が大きくなってしまふ。</p> <p>また、医王山分団2（俵町校下）では独自に機械器具庫と消防ポンプ自動車を所有している為、その地区からの負担金徴収は難しく、さらに世帯ごとの負担額が大きくなることが予想される。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	機械器具庫設置に対する1世帯負担額の軽減について
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>機械器具庫設置における補助額算定基準を消防ポンプ車設置に対する補助額算定と同じく、区域内の世帯数に応じた算定基準としていただき、世帯ごとの負担を少なくしていただきたい。</p>

提出課題についての市の方針等 6 - (1)

課 題	医王山分団機械器具置場の建て替えについて	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	機械器具庫設置における補助額算定基準を消防ポンプ車設置に対する補助額算定と同じく、区域内の世帯数に応じた算定基準としていただき、世帯ごとの負担を少なくしていただきたい。	
市の方針等	<p>消防分団の機械器具置場建設の際には、その費用の一部を住民の皆様からご負担いただいています。</p> <p>医王山分団の機械器具置場の建替え計画についても、地域のご支援をいただくことに改めて感謝したいと思っています。</p> <p>また、地域によって世帯当りの負担の差が生じていることから、ポンプ車の補助制度と同様に、世帯数に応じて負担を軽減することができないか、今後研究していきたいと考えています。</p>	
担当課	消防総務課	電話 280-1028

提出課題一覧表 7

町会連合会名	湯涌校下町会連合会
共通課題	中山間地域の活性化と安全安心
意見、質問の内容	<p>金沢市内の中山間地域は、全国でブームになっている地方移住地域の候補地として十分可能性があると思っています。</p> <p>できれば、地域おこし協力隊の隊員と協働で魅力の再発見や発信を行っていきたいと考えていますが、金沢市として地域おこし協力隊の募集をしてもらえないでしょうか。</p> <p>地域おこし協力隊とは、</p> <p>都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。</p>

提出課題についての市の方針等 7 - (1)

共通課題	中山間地域の活性化と安全安心
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>金沢市内の中山間地域は、全国でブームになっている地方移住地域の候補地として十分可能性があると思っています。</p> <p>できれば、地域おこし協力隊の隊員と協働で魅力の再発見や発信を行っていきたいと考えていますが、金沢市として地域おこし協力隊の募集をしてもらえないでしょうか。</p>
市の方針等	<p>過疎化や高齢化が進む中山間地域の活性化は喫緊の課題ですが、一方で、中山間地域が持つ豊かな自然や文化に興味を持ち、地域にとけ込み、まちづくりをしてみたいと思っている人もいます。</p> <p>市としても、このような人達と一緒に、湯涌地区において滞在型市民農園のモデル事業を推進することや、遊休農地や空き家を活用し、全国から就農希望者を誘致する「金沢で農業プロジェクト」を進めていきたいと考えています。</p> <p>地域おこし協力隊は、地域に居住し、地域協力活動を行いながら、地域への定住・定着を図る取組であり、全国で1,500名以上の隊員がすでに活躍している制度です。</p> <p>隊員の活動が、地域の活性化につながるためには、行政からの支援はもちろんのこと、地域での活動内容や受入体制が重要であり、例えば、「金沢で農業プロジェクト」などの中山間地の農業振興に、この制度が活かさないか研究したいと考えています。</p>
担当課	農業振興課
	電話 220-2213

提出課題一覧表 8

町会連合会名	東 浅 川 校 下 町 会 連 合 会
共通課題	中山間地域の活性化と安全安心
意見、質問の内容	<p>児童の下校時に、見守り隊の方々がボランティアで児童の安全と防犯にあたってくれています。</p> <p>しかし、山間部においては、熊や猪といった、獣からも身を守らなければいけません。現在の対応としては、児童に鈴を持たせる程度です。</p> <p>そこで、市として例えば、車からスピーカーで音楽を流して下校時にパトロールをして頂く等の安全対策を講じて頂きたいと思います。</p>

提出課題についての市の方針等 8 - (1)

共通課題	中山間地域の活性化と安全安心
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>児童の下校時に、見守り隊の方々がボランティアで児童の安全と防犯にあたってくれています。</p> <p>しかし、山間部においては、熊や猪といった、獣からも身を守らなければいけません。現在の対応としては、児童に鈴を持たせる程度です。</p> <p>そこで、市として例えば、車からスピーカーで音楽を流して下校時にパトロールをして頂く等の安全対策を講じて頂きたいと思います。</p>
市の方針等	<p>人とクマのすみ分けを図る環境整備や安全対策を着実に実施しています。</p> <p>山沿いの通学区域をもつ小学校、町会の要望でクマよけ鈴を貸与</p> <p>目撃情報があったときは、石川県猟友会金沢支部、警察、消防等と連携し、速やかに、調査、パトロール、注意喚起、チラシ配布等を実施します。</p> <p>東浅川小学校で安全講座を実施したほか、「安全対策チラシ」も回覧しましたので、皆さま方も、十分ご注意ください。</p> <p>下校時のパトロールについては、見守り隊でラジオ等を使用するなど、今後とも、地域、学校、保護者の皆さまのご協力をお願いします。</p>
担当課	<p>森林再生課</p> <p style="text-align: right;">電話 220—2217</p>

提出課題一覧表 9

町会連合会名	医王山地区町会連合会
共通課題	中山間地域の活性化と安全安心
意見、質問の内容	<p>地域活性化は地域の主体的な活動が基本です。</p> <p>しかし、地元の住民負担には限界があり、資金面が問題となっています。</p> <p>まちなかには商店街起業支援の補助制度がありますが、まちなかだけでなく山間過疎地のような僻地にも里山支援として起業資金の補助をお願いします。</p>

提出課題についての市の方針等 9 - (1)

課 題	中山間地域の活性化と安全安心																	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>地域活性化は地域の主体的な活動が基本です。 しかし、地元の住民負担には限界があり、資金面が課題となっています。 まちなかには、商店街起業支援の補助制度がありますが、まちなかだけでなく山間過疎地のような僻地にも里山支援として企業資金の補助をお願いいたします。</p>																	
市の方針等	<p>1 農林局では、中山間地域の活性化を図るため、個人や企業等が農業に新規参入する場合に支援するほか、地域の課題に応じた活性化ビジョンの作成やビジョンに基づくトライアル活動、加えて、朝市・直売所の開設に支援し、地域の活性化を推進しています。</p> <p>特に、医王山地区では、医王山野菜生産組合と北陸学院大学短期大学部の学生及び本市の農業センターが協力して、青かぶ（百万石青首蕪）の規格外品を利用した加工品や新レシピの開発や交流会の開催、大学祭での試食会を実施するなど「地域農産物づくり協働活動支援事業」に取り組んでいるところです。</p> <p>このような取り組みが、地域の活性化に繋がると考えています。</p> <p>2 経済局においても、創業・起業支援として、相談窓口の開設やアドバイザーの派遣等も行っているほか、自らの特技をもとに小さな商売を始める「プチ創業」をめざす方のための「女性起業支援セミナー」の開催なども行っています。</p> <p>また、地域のニーズや課題をビジネスの手法で解決する事業活動を「コミュニティビジネス支援事業」として補助等により支援しており、多様な支援メニューを地域の振興に役立てていただきたいと思います。</p> <p>【参考】平成26年度起業支援実績</p> <table border="0" data-bbox="228 1563 1399 1733"> <tr> <td>金沢市起業支援相談窓口</td> <td>相談件数</td> <td>230件</td> <td>(窓口133件、電話97件)</td> </tr> <tr> <td>商業活性化アドバイザー</td> <td>派遣件数</td> <td>78件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コミュニティビジネス支援による</td> <td>起業</td> <td>19件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>起業件数</td> <td>126名</td> <td colspan="2">※創業支援事業計画による起業件数</td> </tr> </table>		金沢市起業支援相談窓口	相談件数	230件	(窓口133件、電話97件)	商業活性化アドバイザー	派遣件数	78件		コミュニティビジネス支援による	起業	19件		起業件数	126名	※創業支援事業計画による起業件数	
金沢市起業支援相談窓口	相談件数	230件	(窓口133件、電話97件)															
商業活性化アドバイザー	派遣件数	78件																
コミュニティビジネス支援による	起業	19件																
起業件数	126名	※創業支援事業計画による起業件数																
担当課	農業振興課 商業振興課	電話220-2213 電話220-2193																